

DARC えひめダルク開設フォーラム

ともに生きる

日時：平成29年7月16日（日）13時30分～17時（13時開場）

場所：松山市総合福祉センター（松山市若草町8番地2）

参加費：無料

（えひめダルク支援会より）

ダルクは、薬物依存症などの回復・支援のための民間施設です。全国に90か所ありますが、平成29年3月1日、愛媛県で初めて松山市に開設されました。

薬物依存をはじめとする依存症は社会全体の課題であり、地域で仲間（当事者）の居場所を作り、見守っていく必要があります。仲間や家族、支援者が集まるフォーラムを通じ、みなさんに広く「えひめダルク」を知っていただき、地域での支援のあり方を共に学びたいと思います。

～ フォーラムの主なプログラム（予定）～

・開会のあいさつ 愛媛県・松山市ほか

・基調講演

愛媛生協病院 院長 精神科医 今村 高暢氏（えひめダルク支援会 副会長）

藍里病院 副院長 精神科医 あいざと依存症研究所 所長 吉田 精次氏（徳島ダルク後援会 会長）

・仲間の話、家族の話（体験談発表）

・えひめダルク支援会について



愛媛生協病院

院長 精神科医 今村 高暢氏

平成元年、愛媛大学医学部卒。
25年ほど前からアルコール依存症の治療に関わり、現在は一般病院でのアルコール臨床に積極的に取り組んでいる。平成28年より愛媛生協病院の院長に就任。平成29年1月より、えひめダルク支援会に参加し、活動をサポートしている。



藍里病院

副院長 精神科医 吉田 精次氏

昭和56年、徳島大学医学部卒。現在、藍里病院にて副院長を務めており、薬物依存症のリハビリ施設である「徳島ダルク」の後援会会長も兼任している。また、今春から「あいざと依存症研究所」所長に就任。
平成13年から、アルコール依存症治療を開始。刑務所における薬物離脱教育を6年間担当。平成19年からギャンブル依存症の治療も開始。現在は、依存症全般を専門として治療にあっている。依存症問題に悩む家族のための強力な援助プログラムであるCRAFT（クラブ）を全国に広める活動を行っている。
アルコール・薬物問題の予防活動として、「徳島ダルク」のメンバーと共に「アルコール・ドラッグ乱用防止教育」の出前授業を行っている。

会場へのアクセス



* お車で越越しの方…無料地下駐車場あり（約80台）
多数の方が駐車場を利用する為、すぐに満車となる可能性があります。
できるだけ、公共交通機関での来場をお勧めいたします。

（主催）えひめダルク支援会

（後援）愛媛県・松山市教育委員会・愛媛新聞社・あいテレビ

（後援申請中）愛媛県教育委員会・松山市

（お問合せ）えひめダルク代表 村上 亨 (TEL) 080-3994-4173 (Mail) kagawadarc@ybb.ne.jp

～えひめの仲間を、家族を、支援者を、いつも「空」が見守っています～